

今回、両手に麻痺がありながらも趣味の陶芸を続ける利用者さんにインタビューをしました。

Q. 陶芸を始めたきっかけ

担当のケアマネジャーさんが調べてきてくれて、指の運動にもなると陶芸教室を紹介されて週1回で通い始めました。



← 初めて作った作品

Q. 始めてみて思ったこと

指がうまく動かないので、大変な事が多くありますが、先生に協力してもらって作品作りをしています。ろくろを回す事が大変なので、たたら板で広げて成形しています。

陶芸は、作るものを決めて、土を選んで、練って、成形して、素焼きをして、ヤスリで削って、釉薬を塗って（筆で絵をかいて）本焼きをして完成となります。様々な工程があるので、とても奥が深いと感じています。最後の本焼きが終わりできあがるまで、どんなものになるのか分からないので、とても楽しみです。同じように作っても1つ1つ違うものができるので、一筋縄ではいきません。



こだわりの達磨お猪口シリーズ ↓

↓ 干支の「馬」



Q. 継続できている今の気持ち

病気をする前は仕事で忙しかっただけで、今は陶芸やデイサービスで趣味を楽しんでいます。色々な活動をするとうれしさが広がってきて、考えることも多く、色々な発見をするのがとても楽しいです。年に1回作品展覧会もあるので、そこを目指して日々楽しく作品作りができています。

Q. 読者へのメッセージ

うまくいくことも、うまくいかないこともあります。後押ししてくれる人がいるから日々趣味活動をしながら楽しく生活できています。何事も楽しむ気持ちが大切だと思います。

担当スタッフより

「病気・怪我」があるから『できない』ではなく、どうやったら『できる』かを一緒に考えていければと思います。「やりたい・やってみたい」があればお気軽にお声掛けください。

西部総合病院『公式LINE』開設

ともだち募集中

QRコードで簡単登録 ID検索で登録

LINE @832yimdu

病院からのお知らせや、外来診療担当医表の確認、AI事前問診の利用の案内を行っています。

ぜひご登録ください。

SNS やってます!

YouTube Instagram

@SEIBU_HOURIHA

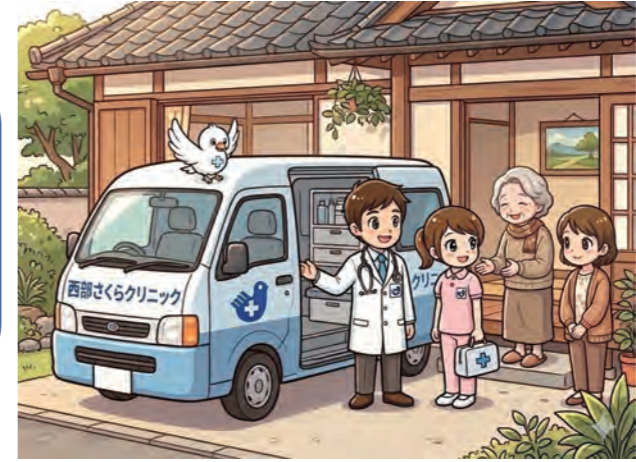


お知らせ 西部総合病院 西部さくらクリニックのご案内

※2026年4月より、旧 西部総合病院健診センターは、健診+訪問診療を併設「西部さくらクリニック」へ変更となりました。

訪問診療（在宅診療）

西部さくらクリニックでは、通院が難しい方を対象に医師がご自宅へ訪問して診療を行う訪問診療を実施しています。地域の医療機関と連携し、安心して在宅療養ができる環境づくりに努めています。



診療内容

定期的な訪問診療
処方・薬の管理
検査（血液検査など）
慢性疾患の管理
※患者さまの状態に応じて対応いたします。

担当医師

西部総合病院
西部さくらクリニック
関山 達彦

対象となる方

通院が困難な方
退院後、ご自宅で療養される方
在宅での医療を希望される方
※詳しくはお気軽にご相談ください。

訪問エリア

西部総合病院周辺地域
※詳細な訪問エリアにつきましてはお問い合わせください。

地域の皆さまが住み慣れたご自宅で安心して療養できるよう、訪問診療を通じて支援してまいります。

職員復帰のお知らせ

4月より育児休業を終え復帰しました。お休み中は子供の成長や変化を驚き慌てながらも貴重な時間を楽しんで過ごすことが出来ました。ありがとうございます。これからもお一人おひとりの想いに寄り添いながらその方らしい生活の実現に向けてリハビリを提供できるように努めてまいります。仕事と育児の両立を図りながら日々成長していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。 横田



2025年12月より育児休業をいただいておりますが、2026年3月より復帰いたしました。休業中は温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。子育てを通じて得た気づきと思いやりを大切にしながら地域の皆様のお力になれるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。 澤田



健康寿命を延ばそう!!

介護予防シリーズ 第13回
さいたま市認知症希望大使（認知症本人大使）
について学ぼう



さいたま市では、「認知症になっても、個人の尊厳が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会」を実現するため、認知症の人が自らの言葉で語り、認知症になっても希望を持って前を向いて暮らすことができる姿等を積極的に発信する「さいたま市認知症希望大使（認知症本人大使）」を任命しています。

<https://www.city.saitama.lg.jp/006/014/008/003/014/006/p124308.html>

次号では、若年性認知症について解説していきます。

2026年春の風景

色とりどりの春に出会いました

